

## 湯しぶき上げて、かるた取り

1月17日㊤、川湯温泉で「仙人風呂新春かるた大会」が開催されました。

仙人風呂に浮かべられた木札のかるたを取り合うこの大会には、県内外から25チーム、100名が参加しました。干支にちなんだ虎のコスチュームなど、仮装した参加者も見られ、平安衣装を着た読み手が県内の昔話などを題材にした句を読み上げると、湯しぶきを上げて、かるたの争奪戦が繰り広げられました。

参加者からは「広大な仙人風呂に飛び込んでいくダイナミックさが魅力」「温泉から上がると少し寒いけど、楽しい」などの感想が聞かれました。

また、参加者や観覧者には、梅干温泉粥が振舞われ、地元産の梅のPRも行われました。



## 大人への門出をお祝い

1月10日㊤、紀南文化会館で「成人の日」記念式典が開催され、新成人661名が出席し、大人としての自覚を新たにしました。

式典では、新成人を代表して山下衝さんが、意見発表を行いました。また、各中学校からの応援メッセージビデオの上映もあり、それぞれの母校が映し出されると歓声が上がっていました。

式典後、華やかな晴れ着に身を包んだ新成人たちは、旧友との再会を喜びあったり、笑顔で記念撮影をしたりしていました。



## 読書って楽しいな!

12月13日㊤、南部センターで、子どもサポートネットみらい主催の第5回子どもみらい子育てのつどい「絵本の読み聞かせ講座と子どもクッキーづくり」が開催され、約50名が参加しました。

エプロンおじさんとして全国で活躍されている別院清氏による絵本の読み聞かせは、子供たちから大人まで熱心に耳を傾けていました。参加した鶴保花奏ちゃん(3歳)は、「楽しかった。歯が抜けたお話が面白かった」と話してくれました。

読み聞かせの後、子供たちがクッキー作りをしている間、大人は、別院氏による講演「子どもの心を育てる読書」に参加し、読み聞かせの効用や方法など参考になるお話に熱心に聞き入っていました。



## 消防の決意新たに!

1月5日㊤、新春恒例の田辺市消防出初式が田辺扇ヶ浜周辺で開催され、市内の消防団や幼年消防クラブ総勢約800名が参加しました。

紀南文化会館で式典が開かれた後、会場を扇ヶ浜海岸駐車場に移し、観閲式が行われました。また、会場前の道路では、団員らが力強く行進したほか、園児も愛らしい姿で歩き、消防車両32台も続きました。

その後、扇ヶ浜交流広場で消防ポンプ車27台による一斉放水が海に向かって行われると、その迫力に会場から大きな歓声が沸き起こっていました。

